

第101回教育研究評議会議事要録

1 日 時 平成23年11月25日（金）13：30～16：10

2 場 所 事務局第1会議室

3 議 事

(1) 教員の病気休職について

（教員の個人情報を含む審議事項であるため非公開）

(2) 学生の懲戒処分（案）について

（学生の個人情報を含む審議事項であるため非公開）

(3) 部局長の運営方針表明について

医歯薬学総合研究科長から、資料3に基づき、医歯薬学総合研究科の運営方針について表明があった。

この表明に関連して、任期制に関する業績評価項目の見直しについて、意見交換があった。

(4) 長崎大学研究推進戦略室規則の制定について

理事（研究・社会貢献担当）から、資料4に基づき、本学に研究費獲得に関する支援、研究成果に関する調査・分析、共同研究及び受託研究の獲得の支援、技術移転の支援等を行う長崎大学研究推進戦略室を設置するため、その組織、業務等に関し必要な事項を定める規則を制定することについて提案があり、審議の結果、異議なく了承された。

(5) 新しい教養教育について

学長から、平成24年度からの新しい教養教育に関し、追加資料1-1～4により次の提案があった。

① 留学生用科目の特例措置等について

留学生用科目の科目名の変更すること、プレースメントテストによりクラス分けを行い履修できる日本語科目を決定すること、従来に準じた形で留学生用科目を外国語科目、全学モジュール科目Ⅱ又は自由選択科目に読み替える等の特例措置を設けること。

② 平成24年度2年次前期の上限単位数について

平成24年度の2年次生には前期のみに旧カリキュラムを設定し、後期には1年次用のモジュールⅠを受講させるが、できる限り前期で全学教育を取得させるために、2年次生の全学教育の履修登録の上限の8単位を平成24年度前期については12単位とすること。

③ 全学モジュール科目について

授業担当教員が未定の全学モジュール科目について、各部局等から授業担当教員の選出

してもらふこと。

審議の結果、大要次のような意見交換があった後、全学モジュールについては引き続き検討することとなり、留学生用科目の特例措置等及び平成24年度2年次前期の上限単位数については了承された。

- 新しい教養教育のモジュール制においては、今年3月に示された全学共通の学士像をカリキュラムに具体化することが重要である。モジュールのテーマが科目によっては担保されていないので各学部に任せるのではなく、全学的に検討して、モジュール間の相互関係を示さなければならない。
- オムニバス形式の授業は教員間で十分に打合せを行わないと断片的な授業になってしまう危険性があるので、基本的にオムニバス形式の授業は認めてはいけない。
- 自由選択科目は教員が開講したいから残すのではなく、哲学、文学、歴史学等の分野でモジュールには馴染まないけれども大学教育の在り方等を勘案して教養教育としてふさわしい科目を自由選択科目として開講すべきである。
- 新しい教養教育をスタートさせるには、教員一人一人が改革の意義をしっかりと理解し、各モジュールの科目の担当教員がモジュール等の意義を共有して準備を進めていかなければならない。また、カリキュラムやシラバスを作成する時点から、教員間で意思統一する必要がある。
- 新しい教養教育は学部専門科目に関連させる必要あるが、今のままではあまり関連していないのではないか。学生が人文系の科目を全く受講せずに卒業する危険性もあるので、例えば、モジュールに1科目人文系の科目を入れる等の対策が必要となる。

9 報告事項

(1) 教職大学院の認証評価の受審について

理事（総務・財務担当）から、資料5に基づき、教育学研究科教育実践専攻（平成20年度設置）に係る認証評価の受審について、今後のスケジュール等の報告があった。

(2) 平成24年度科研費の申請状況について

理事（研究・社会貢献担当）から、資料6に基づき、平成24年度科研費の申請状況について各部局別及び種目別の申請件数等の報告があり、教育学部の申請率が低いとの指摘があった。

(3) 第3回長崎大学「高度安全実験（BSL-4）施設」設置の可能性に向けた学長室WGについて

理事（国際・危機管理担当）から、11月20日（日）に開催された『第3回長崎大学「高度安全実験（BSL-4）施設」設置の可能性に向けた学長室WG』で審議された、高度安全実験（BSL-4）施設のスペック及び立地条件について、報告があった。

(4) 平成23年度TA、RA及び研究奨励金の部局別予算配分額について

学長から、資料9に基づき、平成23年度のTA、RA及び研究奨励金の部局別予算配

分額について、報告があった。

(5) 中央図書館の改修計画について

施設部長及び附属図書館長から、資料10に基づき、平成23年度国立大学法人等施設整備実施予定事業（補正予算（第3号））により行う中央図書館の改修計画の概要と改修中の中央図書館の運営・サービス等についての報告があり、協力の依頼があった。

(6) 長崎大学における冬の省エネ対策について

施設部長から、資料11に基づき、九州電力より節電に関して協力要請があったことを受けて本学の省エネ対策についての説明と、協力の依頼があった。

(7) 学生支援・教育施設新営工事期間中の仮設通路計画について

施設部長から、資料12に基づき、学生支援・教育施設新営工事期間中の仮設通路計画についての報告と、工事についての協力依頼があった。

(8) 白熱教室 in 長崎大学について

学長から、資料13に基づき、今年度で開催予定の白熱教室 in 長崎大学について、講師については小出五郎氏とし現在提案されているテーマ「放射線について何を考えるべきか？」ではなく、もっと広いテーマとすることと、開催日の候補日について説明があった。また、各部局等からの学生及び若手教員の参加について協力要請があった。

(9) 第7回アジア金融市場国際カンファレンスの開催について

経済学部長から、リーフレット（配付資料）に基づき、12月10日、11日に開催される第7回アジア金融市場国際カンファレンスについての案内と、参加の依頼があった。

(10) その他

ア 寺島実郎責任監修復興構想コンテストの協力について

理事（国際・危機管理担当）から、若者による新しい視点での構想力あふれるアイデアを募り、優秀な政策案についてはその実現に向けた支援を行う「寺島実郎責任監修復興構想コンテスト」について、実行委員会事務局より論文審査の協力の依頼がきている旨の報告があった後、審査委員としては基本的には副学長を中心に協力する方向であるが、テーマ等によっては各部局の教員に依頼する場合も考えられるので、その際の協力について部局に依頼があった。

イ 第71回長崎大学FD「戦略GP公開シンポジウム」の開催について

薬学部長から、12月13日に開催される第71回長崎大学FD「戦略GP公開シンポジウム」についての案内と、参加の依頼があった。

以上